

会 長 殿
理事・監事・運営委員 殿
各県自衛隊家族会会長 殿

家族会事 37 号
R 8. 09. 1
公益社団法人自衛隊家族会
事務局 長 阿部 知己

令和 8 年 9 月「月 報」

1 はじめに

厳しい残暑が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか？

連日の猛暑日、時折襲う雷雨、線状降水帯という言葉と「一晩で例年のこの時期の 1 か月分の雨量・・・」という報道が珍しいものではなくなってしまう感があります。

・・・上記は、昨年の 9 月「月報」の書き出しですが・・・今年もこの時期に・・・

7 月末の熊本地震に続き、8 月半ばに千葉県を中心に、更に月末に北陸地域を豪雨が襲い、甚大な被害をもたらすとは、予想をはるかに超えていました。

被害に遭われた方にお見舞い申し上げ、復旧・復興のために活動している自衛隊をはじめ諸団体の皆様に感謝いたします。

自然災害は予測が難しく、時期によっては対応を躊躇する場面も多いものです。

くれぐれも、ご自愛と早めの危険回避の行動をお願いいたします。

2 防衛省・自衛隊の活動（写真は各幕 HP 等より）

(1) 8 月 9 日、海上自衛隊厚木航空基地で派遣海賊対処行動航空隊の出国行事が行なわれ、出席した小泉進次郎防衛大臣は「隊員の皆さんがこれから守るアラビア海、オマーン湾へと至る広大な海域は、



日本人の経済と生活を支える大動脈であり、この任務に従事する隊員の皆さん、そしてその隊員を支える家族は国の宝である。



派遣隊員の皆さんは指揮官を中心に一丸となり、任務を完遂し、無事に帰ってくることを望みます。」と訓示し、激励しました。



P-3C



家族に見送られて進む隊員（右端は大臣）



P-1

◎ P-3C で行われていたこの任務は、第 60 次を数える今回から P-1 になりました。

※ P=3C 以外の写真は、出国行事に参加した神奈川県自衛隊家族会大和地区会水谷会長と県央地区会大槻参与からいただきました。

(2) 災害派遣



7月28日（火）夕刻発災した令和8年熊本地震に係る災害派遣は、陸自第8師団長（北熊本・熊本）を中心に情報収集、人命救助、物資輸送、生活支援等を行い、現在は、左掲の通り、給水、入浴支援を中心に活動を行っています。

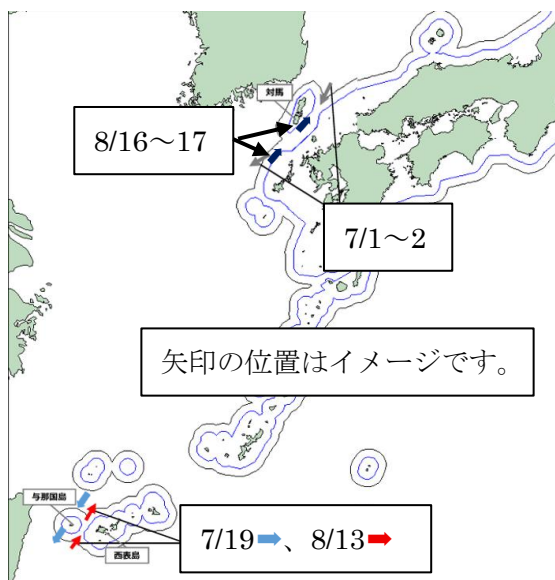
防衛省は、八代港にPFI船舶「はくおうⅡ」を停泊させ、生活支援（入浴・宿泊）を行っています。

また、2021年に成立した「災害時等における船舶を活用した医療提供体制の整備の推進に関する法律」が、2024年6月に施行され、様々な調整を経て今年の1月から「船舶活用医療」の運用が開始されており、宿泊、食糧の保管、発電等のライフライン設備等を持ち、



自己完結的に海上で活動できる「はくおうⅡ」は、船内で医療の提供を行い、災害で逼迫した陸上の医療機能を補完しています。

(3) ロシア海軍キロ改級潜水艦及びイゴリ・ペロウソフ級潜水艦救難艦の2隻が7月1日から2日にかけて対馬海峡を南西進し、7月19日に与那国島と西表島との間の海域を南西進、

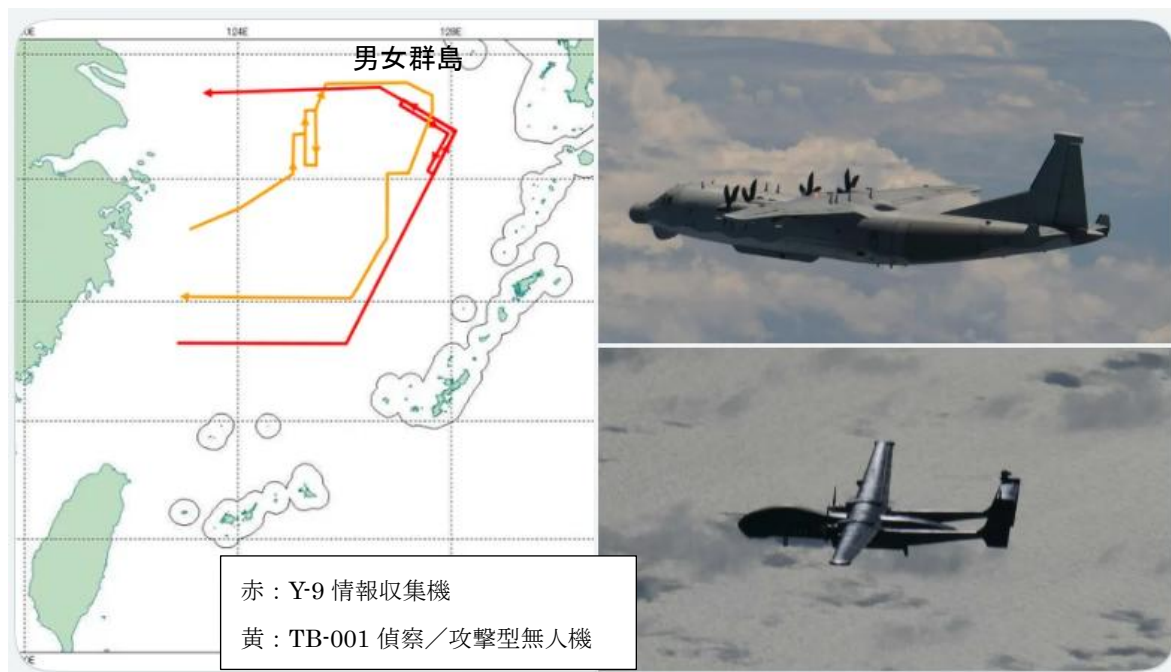


8月13日、与那国島の南約80kmの海域を北東進し、与那国島と西表島の間の海域を経て東シナ海へ向けて航行、8月16日から17日にかけて対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行したことを確認しました。これに対し海自第5哨戒防備隊（大湊）所属「おおよど」、海自第3機雷戦隊（佐世保）所属「たかしま」及び海自第4航空群（厚木）所属「P-1」等により、警戒監視・情報収集を行いました。

下掲写真左はイゴリ・ペロウソフ級潜水艦救難艦、右はキロ改級潜水艦です。



- (4) 8月18日、中国軍の情報収集機（Y-1）と偵察／攻撃型無人機（TB-001）が、長崎県男女群島沖から沖縄本島にかけて東シナ海上を飛行したことを確認し、空自西部航空方面隊等の戦闘機を緊急発進させ対応しました。



- (5) 8月4日、防衛省は令和8年版防衛白書を公表しました。



令和8年版防衛白書は、「未来につながる安全保障」をテーマとし、防衛装備移転三原則を改正し、「三文書」の前倒し改定を行う節目の年の白書として、安全保障政策が広く国民の未来につながっている点や、新しい戦い方などについて記述しています。

また、令和7年4月から令和8年年3月まで（一部重要事象については5月まで）のわが国周辺国の軍事動向などわが国を取り巻く安全保障環境や、防衛省・自衛隊の取組、米国をはじめとする各国との協力などについてまとめています。

表紙は「未来につながる安全保障」のテーマのもと、わが国の未来へ希望を持てるようなデザインとなっています。

- (5) 8月30日、インドネシアでの山林火災の消火活動のため、国際緊急援助活動として陸自CH-47ヘリコプターを搭載した輸送艦「くにさき」が、海自呉基地からインドネシアに向けて出港しました。

(4) 各地での募集／就職援護活動



高校・大学・専門学校生の
統合防災演習研修支援 (静岡地本)



大学の子供向けイベントに参加
(静岡地本)



現役防大生が母校訪問
受験希望者にアドバイス
(静岡地本)



体験搭乗 (静岡地本)



富士まつり (静岡地本)



オープンキャンプ (福知山)



体験搭乗
(12 施設群・岩見沢)



隊員との懇談 (福知山)



営内居室の研修 (福知山)

レンジャー訓練見学 (福知山)



阪急阪神ホールディングス (阪急電鉄株・阪急バス株・阪急タクシー株)、
三社運転体験・職業説明会 (大阪地本)



企業・職業説明



タクシー運転体験



自衛官募集ポスター
掲示協力 (バス車内)

株式会社電材重機、令和8年度定年制インターンシップ（札幌地本）
会社見学、クレーンの操作体験、整備要領の研修



（５）自衛隊音楽まつり

令和8年度自衛隊音楽まつりは日本武道館（東京・九段）で次の要領で実施されます。

- リハーサル公演 11月19日（木）1800～
- 第1回公演 11月20日（金）1400～
- 第2回公演 11月20日（金）1800～ ※招待公演
- 第3回公演 11月21日（土）0930～ ※招待公演
- 第4回公演 11月21日（土）1330～
- 第5回公演 11月21日（土）1730～

下記の陸上自衛隊の公式サイトから申し込むことができます。（9月11日まで受付）

https://www.mod.go.jp/gsdf/event/marching_festival/festival2026/

3 家族会の活動

（１）第60次派遣海賊対処行動航空隊を激励

8月6日、神奈川県家族会中條会長と大串事務局長が海自厚木航空基地を訪れ、ソマリア沖・アデン湾における海賊対処のため派遣される第60次派遣海賊対処行動航空隊（海自第4航空群第3航空隊基幹）を激励しました。

第4航空群を基幹とする派遣は、2014年の第17次以来、約12年ぶりとなり、さらに今回は、長年活躍してきたP-3C哨戒機に代わり、国産哨戒機P-1が初めて投入される歴史的な派遣となります。

派遣部隊指揮官の山崎司令、原田前任伍長との懇談には、第4航空群司令・鈴木海将補、首席幕僚鷺澤1海佐も加わり、山崎司令からは「国民の期待に応えるべく、全力を尽くします」との力強い決意が表明され、また、鈴木第4航空群司令からは、「派遣家族のバックアップは万全です。ご家族の皆様には、安心して送り出してください。」とのメッセージをお預かりしました。



原田前任伍長、山崎司令、
中條会長、大串事務局長



大槻参与 水谷会長

9日に実施された出国行事には神奈川県自衛隊家族会大和地区会水谷会長と県央地区



会大槻参与が参加し、防衛大臣、国会議員、基地周辺自治体の首長である大和市長及び綾瀬市長、支援団体、派遣隊員の家族等とともに任務完遂と無事の帰国をお祈りしました。

➡出国行事開始前に設けられた小泉防衛大臣と派遣隊員及び派遣隊員家族との交流の時間に

防衛大臣を囲んで写真撮影する参加者

(2) 国連南スーダン共和国ミッション（UNMISS）派遣隊員を激励

8月25日、自衛隊家族会は、防衛省においてUNMISS司令部要員の佐藤3等陸佐と牛尾3等陸佐を激励しました。

佐藤3佐は、情報幕僚として情勢に係る情報資料の収集・整理・配布及びデータベース整理に係る業務を、牛尾3佐は、施設幕僚としてUNMISSの活動に必要な施設の配置・維持・補修に係る企画調整に係る業務を実施します。

1年間の任務、くれぐれも健康を維持してのご活躍をお祈り申し上げます。



左から、牛尾3佐、佐藤3佐

(3) 利府町自衛隊家族会懇親会

8月1日、利府町自衛隊家族会は、利府町森林組合事務所で親睦会を開催しました。会には東松島市渡邊会長、松島町小松会長も加わり、「一部」では第22即応機動連隊長兼ねて多賀城駐屯地司令伊藤1陸佐の防衛講話を受講し、最近における国内外情勢について防衛意識の高揚を図りました。



「第二部」では、和気あいあいの内に、行事等への取り組みや問題点を話し合いました。



オレンジ色が「球」です。念のため・・・

今年で三年目となる【スリッポン】では珍ゲーム・迷場面が続出、会場一杯の笑いを誘い、終盤には衆議院議員環境大臣政務官森下千里氏が熱戦を交わし、和やかに親睦会（意見交換会）を締めくくりました。今後とも、他家族会との交流を図り、常に隊員（我が子）と家族の架け橋となれるように、新しい意識を持ち続けたいと思います。

(4) 自衛隊家族会「問い合わせ窓口」の集計結果（月間報告）

令和 8 年 8 月の「問い合わせ」件数は事務局で対応した非会員からの 1 件であり、分類は“相談者や隊員に関する相談”の I 分類でした。

問い合わせ内容は、近畿エリア所在部隊所属隊員を夫に持つ奥様からの相談です。

ご主人とは、ご主人の不倫が原因で離婚することが決定していますが、熊本地震発生の 7 月以降ご主人からの連絡が途絶えており、災害派遣対応熊本に長期展開している為に連絡ができないのか、不倫相手の家に住んでいる為に連絡が来ないのか不明であり、不安であるという相談です。

お話を伺うと当人からご主人には連絡はしていないそうなので、「離婚が決まり今更奥様からご主人に電話する義理もゆかりも無いことは当然ですが、ご自身のお心に不安があるならば、ご自身の為に奥様から電話をするという手段も有るのではないのでしょうか。」と助言し、「発災直後は多忙で電話を掛ける暇が無いかもしれませんが、災害派遣だからといって、長期間電話ができない状態に在ることは、通常、考えられません。」ともご説明し、必要であれば部隊を経由して連絡することも可能である旨をコーチングしました。

対応冒頭のお話では要領を得ず、長時間の受け応えでようやく奥様が何を望んでおられるかが、おぼろげに理解できました。“離婚、災害派遣、不倫相手・・・”この様なそれまでの奥様にとっては非日常であった単語が頭を巡り、ご自身でも判然としない不安感からネットを検索し、当窓口で電話をされた様でした。

他人事であれば、“離婚が既に決まったのだから仕方がない、放っておこう”“あのヤローあの憎い不倫相手と新しい生活を始めたかクソー”とか考えて、「法律的な決着と同時に自分の心も割り切って片を付けるべき」とか、言うところですが、当人のお心はそんなに簡単ではない様です。

秋になり”空模様“も奥様のこころも定まらない模様ですが、法律上同様に、気持ちも早く新たなスタート点に立って青空となることを祈念申し上げます。

4 事務局からの連絡

(1) 新任会長・事務局長等研修会の予定

新たに各県家族会の会長・事務局長に就任された方々に、自衛隊家族会に係る理解を深めていただき、本部と県家族会との連携を密にして円滑に運営してゆくために「新任会長・事務局長等研修会」を 10 月 5 日（月）東京都新宿区市ヶ谷地域で実施します。

該当者及び該当者所属県家族会長へは実施の細部をお知らせしております。

参加者は参加にあたり、「活動の手引」（自衛隊家族会 Web「会員のページ」）をご一読いただけますと、有難く存じます。

(2) ボランティア保険料の支払いについて

令和 7 年 10 月から更新したボランティア保険が令和 8 年 10 月 1 日で満期（1 年）を迎えます。各県家族会の保険料支払いにつきましては、事務局からの「保険料請求のご案内」が、お手元に届き、確認を頂いた後に 10 月～12 月の間に支払いをお願いします。

(3) 各種希望数の確認について

下記について要望数をそれぞれの時期までに事務局業務担当の梁池へご連絡下さい。

ア 入校・入隊者激励会用「おやばと」(無償配布)

入校・入隊者激励会用「おやばと 2月号」希望数を 11月30日(木)まで

イ 北方領土返還要求署名用紙

令和8年度希望数を 11月30日(木) まで

(4) 「活動状況等調査」の提出について

既に家族会本第21号(令和8年4月21日)で令和8年11月4日(火)を提出期限としてお願いしております。あと2か月余りですが、ご準備のほどよろしくお願い致します。

以上

配布先

防衛省人事教育局長、文書課長、人材育成課長、厚生課長

統合幕僚監部総務部長、総務課長

陸上幕僚監部人事教育部長、募集・援護課長、同総括班長、厚生課長、家族支援班長

海上幕僚監部人事教育部長、人事計画課長、同募集推進室長、厚生課長

航空幕僚監部人事教育部長、厚生課長、厚生班長、募集・援護課長、募集・援護調整官、募集班長、

陸上総隊司令部総務部長、

各方面総監部人事部長、募集課長、厚生課長、各自衛隊地方協力本部長

各師団・旅団司令部幕僚長